

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2
学年・科	2年・ライフデザイン科				
教材	教科書	精選 文学国語 (三省堂)			
	副教材				
学習目標	多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。言語事項を総合的に学習し、国語に関する知識を深めることにより、国語に対する関心を高め、国際社会に生きる国語の力を獲得させる。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	一 小説の言葉・詩の言葉 夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について  二 小説 (一) 少年という名前のメカ  三 詩歌 私を束ねないで	<ul style="list-style-type: none"> <li>表題にある「物語の効用」とはどのようなことだろうか、話し合う。</li> <li>「少年らしさ」に着目し、社会の「〇〇らしさ」について話し合う。</li> <li>「わたし」は各連でそれぞれどのようなものにとえられているか。また、それらからどのような意味やイメージを受け取ることができるかまとめる。</li> </ul>	期末考查
2 学期	四 小説 (二) ひよこの眼  七 小説 (三) ころろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私」と「幹生」の関係はどのように変化していくか、</li> <li>「私」の「幹生」への気持ち、「幹生」の「私」への態度からまとめる。</li> <li>「お嬢さん」に恋をしたことにより「K」の態度や様子はどのように変わったかまとめる。</li> <li>「K」の自殺の原因について、話し合う。</li> </ul>	期末考查
3 学期	七 小説 (三) 捨てない女	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説を書く過程でどのような「ゴミ」が出るのか、また「ゴミ」を出さないために「わたし」はどのような方法を思いついたか。それぞれ整理する。</li> <li>「捨てない女」では、言葉や文字そのものが小説の展開上重要なはたらきをしている。印象に残った表現を抜き出し、そのはたらきについて話し合う。</li> </ul>	学年末考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、解釈している。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
------	--

アドバイス	日頃から言葉や文章に興味・関心を持ちましょう。作者の他の作品を読んだり、教科書に取り上げられた作品を全文読んだりするのもよいでしょう。
-------	---

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2
学年・科	2年・ライフデザイン科				
教材	教科書	地理総合（東京書籍）			
	副教材	地理総合ワークノート（東京書籍）			
学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1学期	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割 第3章 資料から読み取る現代世界	地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、現代世界の地理情報を、地図や地理情報システムを用いて収集し、読み取り、まとめる基礎的な技能を身に付ける。 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	中間 期末 考查
2学期	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化と国際理解 2節 生活文化と自然環境の地形 3節 生活文化と自然環境の気候 4節 生活文化と産業 第2章 ささまざまな地球的課題と国際協力 1節 地域課題 2節 資源・エネルギー課題 3節 人口課題 4節 食糧課題 5節 居住・都市課題 6節 防災課題 7節 持続可能な社会の実現をめざして	人々の生活文化が多様性をもつことや、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について理解する。 世界の人々の生活文化について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることを理解する。 地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、地球的課題の現状や要因・解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	中間 期末 考查
3学期	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色 2節 ささまざまな自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりを理解し、ハザードマップなどの地理情報を活用して災害による被害を減らす地理的な技能を高める。 生活圏の地域調査を通じて、地域全体の防災意識と防災力を高めるとともに、持続可能な地域づくりのための方策を考察・構想し、表現する。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果をもとに評価します。授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	地理を学ぶことが、みなさんの未来を平和で明るく、楽しくすることにつながります。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	公民	科目	公共	単位数	2
学年・科	2年・ライフデザイン科				
教材	教科書	高等学校 新公共 (第一学習社)			
	副教材	学習事項の整理と問題 新公共ノート (第一学習社)			
学習目標	広い視野に立って、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、人間としての在り方・生き方について考える基礎的な力を養い、良識ある公民としての必要な能力を養うことを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1編 公共の扉 1 公共的な空間を作る私たち 2 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 3 公共的な空間における基本原理	現代社会を社会生活の面から捉える。 青年期の課題と私たちの社会への参加について考察する。 現代社会における地球環境問題・資源エネルギー問題さらに生命倫理などの諸課題についてその要因や取組について学習する。 哲学や宗教、先人の教えからよく生きることとは何かについて考察する。	中間 考查  期末 考查
2 学期	2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 1 法的な主体となる私たち 2 政治的な主体となる私たち 3 経済的な主体となる私たち	日本国憲法の成立とその基本原理を学習する。 現代の民主社会について学習し、私たちが国や地方の政治にどのように参加すべきかを考察する。 現代社会を政治の面から捉える。 民主政治の原理と成立の歴史、また、民主政治を推進するために果たすべきことについて学習する。 現代社会を経済の面から捉える。 経済とは何かを学習し、経済活動の中心を担う企業の活動を通して、日本経済の現状と課題を学習する。	中間 考查  期末 考查
3 学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 1 ケーススタディ	発展途上国と先進国との共生、自由や幸福を次の世代にわたって受け継ぐための課題について考察する。 グローバル化が進んでいる国際社会を経済・政治の両面から学習する。 世界から求められわが国の役割を理解し、共生社会の実現を目指して私たちがどのように行動すべきかを考察する。	学年 末 考查

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	現代社会の課題や構造について学ぶことで、公民として将来を生きる私たちに必要な知識を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	最新 数学A (数研出版)			
	副教材	新課程 パラレルノート 数学A (数研出版)			
学習目標	図形の性質、場合の数と確率、数学と人間の活動の関係について理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	・場合の数を求めるときの基本的な考え方について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查
	第2節 確率	・確率の意味や基本的な法則について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	期末 考查
2 学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	・平面図形の性質について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查
	第2節 空間図形	・空間図形の性質について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	期末 考查
3 学期	第3章 数学と人間の活動	・さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深める。また、学習の中で、現実の事象を、数学を用いて考察できるようにする。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	<p>考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。</p>
アドバイス	<p>日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。</p>

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	高校生物基礎 (実教出版)			
	副教材	高校生物基礎エブリィノート、ネオパル生物基礎			
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察の基本的な技能を身に付ける。また、実験観察などを通して科学的に探究する力、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性  2節 生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様化と共通性について理解する。</li> <li>細胞とその内部構造について、実験観察を通して学習する。</li> <li>呼吸と光合成の概要から、生命活動のエネルギーと代謝について、また酵素の働きについて学習する。</li> <li>光合成や呼吸とATPのはたらきについて理解する。</li> <li>DNAの構造や性質、DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を、研究史などを通して理解する。</li> <li>体細胞分裂の際のDNAの複製と分配の仕組み、細胞周期との関係性を理解する。</li> </ul>	中間 考查  期 末 考 査
	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA  2節 遺伝情報とタンパク質の合成		
2 学期	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境  2節 体内環境の維持のしくみ  3節 免疫	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命現象にはタンパク質が関わっていること、タンパク質はDNAの遺伝情報に基づき合成されることを学ぶ。</li> <li>動物は内部環境としての体液をもち、体液は外部環境が変化しても一定に保たれていることを理解する。</li> <li>恒常性と神経系と内分泌系の働きについて理解する。</li> <li>血糖濃度調節のしくみと、起因する疾患について学ぶ。</li> <li>ヒトを中心に生体防御の仕組み、体液性免疫や細胞性免疫について理解する。</li> <li>同じ疾患に再度かかりにくい理由を考察し、二次応答のしくみについて学習する。</li> <li>ヒトの身近な免疫疾患について理解を深める。</li> </ul>	中間 考查  期 末 考 査
	第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち  2節 植生とバイオーム  3節 生態系と生物の多様性  4節 生態系のバランスと保全		
	3 学期		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生物が地球上の様々な環境に適応することにより生態系の多様性がもたらされていることを理解する。</li> <li>遷移が進行する理由について学び、周囲の環境について考察する。</li> <li>地球上には多くのバイオームが成立している理由について学習する。</li> <li>人為的攪乱により生態系のバランスが崩れる場合があることを理解する。</li> <li>生態系の保全の重要性について認識する。</li> <li>自然環境の保全に寄与する態度を育てる。</li> </ul>	学 年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象についての探究の過程を通して、問題の発見、仮説設定、実験計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して表現する力が身に付いている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとするなど、科学的に探究する態度が身に付いている。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、実験観察の技能や態度、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの生物や生物現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	現代高等保健体育			
	副教材				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	1 オリエンテーション 2 体づくり運動 3 選択制授業1 ソフトボール、テニス、バドミントン、バレーボール 4 体育理論1 スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて学習する。</li> <li>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。</li> <li>運動やスポーツにおける効果的な学習の仕方について学習する。</li> </ul>	期末考査
2 学期	5 選択制授業1 6 体づくり運動 7 選択制授業2 サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン 8 体育理論2 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム 9 ウォークラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことについて学習する。</li> <li>作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。</li> <li>運動やスポーツの技能の上達過程の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法について学習する。</li> </ul>	期末考査
3 学期	10 陸上競技 11 選択制授業3 サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン 12 体育理論3 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペースの変化に対応して走り、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。</li> <li>作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。</li> <li>運動やスポーツを行う際の、さまざまな危険の予見や回避について学習する。</li> </ul>	学年末考査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価方法	学習カードやスキルテスト、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生涯にわたって運動を豊かに継続することができるよう、体を動かすことの心地よさや、仲間と協力して活動することの楽しさを味わいましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	現代高等保健体育 (大修館)			
	副教材	現代高等保健体育ノート (大修館)			
学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	3単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯の各段階における健康や労働と健康について学習する。</li> <li>生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考判断し、表現することについて学習する。</li> </ul>	期末 考查
2 学期	7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 4単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について学習する。</li> </ul>	期末 考查
3 学期	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医療品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考判断し、表現する方法について学習する。</li> </ul>	学年 末 考查

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、応急手当の技能が身に付いているか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	保健体育にかかわる大切な知識を理解し、自分自身の生活と学習内容を結び付けることで、社会や世界とのかかわり方や、より良い人生を送る方法について考えてみましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	1
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	音楽Ⅱ Tutti+ (教育出版)			
	副教材				
学習目標	音楽Ⅰの学習経験を基盤として、質的に高めた音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とより深く関わる資質・能力を育成する。 主体的・協働的な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音や音楽のよさや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	オリエンテーション —クラスの歌声を響かせよう—	・音楽Ⅱの学習目標や学習計画を確認する。また、なじみのある J-POP の歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら歌い、音楽Ⅱの学習意欲を高める。また、楽曲に込められた思いと、楽興の構造などについて深く考える。	実技試験・筆記試験
	歌の旅に出よう 2 —各国の歌曲をとおして—	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらの関わりによって生み出される表現上の効果について考える。	
	オーケストラの魅力を探ろう —バイオリンの演奏を通して—	・バイオリンの奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏し、楽器の魅力を味わう。また、オーケストラの様々な楽器による表現上の効果を理解し、そのよさや美しさを味わう。	
2 学期	西洋音楽史 古典派の音楽 ロマン派の音楽	・音楽鑑賞を通して、西洋音楽を体系的にまとめる。それぞれの時代の作風や楽器の変遷などを知ること、より高い鑑賞の力を身に付け、現代の音楽とのかつらぎについて考える。	実技試験・筆記試験
	ポピュラー音楽とは何か —DTMを活用して—	・DTMの基礎的な知識・技能を踏まえ、動機から音楽を創る技能を身に付け、創作で表現する。	
3 学期	世界の諸民族の音楽	・世界の音楽や踊り、発声法や楽器について知ること、音楽の幅を広げる。	実技試験・筆記試験
	自由課題研究	・1年間の音楽学習のまとめとして発表会を企画実施する。音楽Ⅱで学習した知識・技能を応用して、グループごとに発表し合う。	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法などの技能を身に付けている。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、深く味わって聴いている。	歌唱や器楽に関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 紹介文を作成してプレゼンテーションすることに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 音楽表現や音楽文化に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	授業中の筆記試験や実技試験のほか、課題や作品などの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	普段から芸術に興味を持ち、幅広く音楽作品を聴くようにしましょう。音楽用語などの知識をコツコツ覚えることと、のびのびと豊かに表現することが求められます。



令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	1
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	高校生の美術2 (日本文教出版)			
	副教材				
学習目標	1 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うことを目指します。 2 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標とします。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	オリエンテーション  1 デザイン	・美術Ⅱの学習について  ・ポスターを考える。 ・デザインがもたらす統一感 ・伝えることと表現方法 ・アイディアスケッチ ・レイアウトと構成 ・作品鑑賞	作品・レポート・ワークシート
2 学期	2 絵画	・人物のイメージや心情を表す ・鉛筆デッサン ・形をとらえる ・着色 ・仕上げと鑑賞	作品・レポート・ワークシート
3 学期	3 鑑賞	・作家探究	作品・レポート・ワークシート

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して総合的に評価します。
アドバイス	制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問してください。美術系進路を考えている人は早めに相談に来てください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションII	単位数	2
学年・科	2年・ライフデザイン科				
教材	教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)			
	副教材	All Aboard! English Communication II WORKBOOK (東京書籍)			
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、一定の支援を活用すれば、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	Pre-Lesson My Plans for This Year	・助動詞+動詞の原形 ・to 不定詞	中間考査  期末考査
	Lesson 1 A Colorful Island	・関係代名詞 what	
	Lesson 2 With the Beatles	・比較 more ・ the most を用いた文	
2 学期	Lesson 3 Wild Men	・It is ... (for) to～ ・It is ... that～	中間考査  期末考査
	Lesson 4 Little Hero	・間接疑問文	
3 学期	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	・to 不定詞	学年末考査
	Reading 1 <i>Mujina</i>	・登場人物の気持ちになって暗唱する。	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> </ul>

評価方法	定期考査のほか、実力テスト、授業での小テスト、パフォーマンステスト、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に判断します。
アドバイス	辞書を用意して、自ら学ぶ準備を整えておきましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	2
学年・科	2年・ライフデザイン科				
教材	教科書				
	副教材	課題研究ノート（自作教材）			
学習目標	専門教科「家庭」に関する各科目の中から自分で課題を見つけ、各科目で学習した知識・技術を総合して、その課題の解決を図る学習をします。				

	教材内容	学習内容	考査
1・2 学期	1. 研究テーマの決定	1. 自分自身の興味・関心や進路希望等に応じて個人又はグループで適切な課題を設定します。 (1) より高度な知識・技術の習得 (2) 学校家庭クラブ活動 (3) 地域との共生によるまちづくり (4) 生活文化の伝承 (5) 多世代交流 などを意識した内容のテーマを決定する。	
	2. 実施計画の立案	2. 課題の解決を図る方策を検討し、学習計画を立てます。	
	3. 実践	3. (1) 調査、研究、実験 (2) 作品製作 (3) 産業現場等における実習 などを活用しながら研究を進めていきます。	
	4. 研究内容の手直し	4. 研究内容の改善を行います。	
3 学期	5. 研究のまとめと成果発表	5. 研究内容をまとめ、成果発表を行います。	

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	生活産業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ共同的に取り組んでいる。

評価方法	研究態度や実習態度、提出物や作品点（レポート点）で評価します。定期考査はありません。
アドバイス	課題研究は、特定の科目にとらわれず広く自由な発想で自らが課題を見つけることが大切です。そのためには、日頃から問題意識を持って各科目の授業を受けることが重要です。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	生活産業情報	単位数	2
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	生活産業情報 (実教出版)			
	副教材				
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、生活産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	第1章 情報化の進展と生活産業	1 情報化の進展と社会 2 生活産業における情報化の進展	
	第2章 情報モラルとセキュリティ	1 情報モラルとマナー 2 情報通信ネットワークのしくみとセキュリティ管理	
	第3章 コンピュータとプログラミング	1 コンピュータの基本構成 2 モデル化とシミュレーション 3 アルゴリズムとフローチャート	
2 学期	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン	<小テスト> 1 メディアの特性 2 コミュニケーション 3 情報デザインの課題	
	第5章 各種アプリケーションの基本操作	1 文書作成ソフトの利用 2 表計算ソフトの利用 3 プログラミングソフトの利用 4 プレゼンテーションソフトの利用 5 画像処理ソフトの利用 6 動画に関連したアプリケーションの利用 7 Webページ作成ソフトの利用	
	第6章 生活産業に関連した情報デザイン	<小テスト> <ビジネス文書実務検定3級>	
3 学期	第6章 生活産業に関連した情報デザイン	1 食生活分野での利用 2 衣生活分野での利用 3 住生活分野での利用 4 ヒューマンサービス関連分野での利用 5 消費生活関連分野での利用	
		<小テスト>	

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活産業の各分野における情報の意義や役割、情報及び情報技術を活用する方法について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	生活産業に関する課題を情報及び情報技術を活用して発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決できる力を身に付けている。	生活産業における情報及び情報技術の活用や専門性の向上を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	小テストやビジネス文書実務検定、実習、提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	パソコンの技術を向上させるためには、パソコン操作に慣れることが重要です。できるだけ多く家庭や学校で練習しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	3
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	保育基礎 (実教出版)			
	副教材				
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 子どもの保育 1 保育の意義 2 保育の方法 3 保育の環境	I 保育とは II 保育の意義 I 保育者の役割 II 一人ひとりに合わせた指導 I 家庭での保育 II 幼児教育・保育の場 III 子供が育つ環境の変化と課題	中間 考查
	第2章 子どもの発達 1 子どもの発達の特性 2 子どものからだの発達 3 子どもの心の発達	I 発達と保育 II 発達の共通性と個別性 I 発育・発達の評価 II 身体的特徴 III 生理的特徴 I 社会・情緒的な発達 II 知的発達 III 言葉の発達 <保育技術検定3級> <保育実習>	期末 考查
2 学期	第3章 子どもの生活 1 子どもの生活と養護 2 生活習慣の形成 3 健康管理と事故防止	I 生活と養護 II 栄養と食事 III 衣生活 I 子どもの生活習慣 II 基本的生活習慣 III 社会的生活習慣 I 子どもの健康管理 II 事故の防止と応急処置	中間 考查
	第4章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支える場 2 子どもの遊びと表現活動	I 子どもの文化 II 子どもの文化を支える場 I 遊びと発達 II 遊びと表現活動 <保育技術検定3級> <保育実習>	期末 考查
3 学期	第5章 子どもの福祉 1 子ども観 2 子どもの福祉 3 子育て支援	I 子ども観の変遷 II 権利の主体としての子どもへ I 児童福祉 II 子どもをとりまく課題と対策 III 子どもが育つ社会環境 I 子育て支援からパートナーシップへ II 社会的養護 III 地域の子育て支援 <保育技術検定3級> <保育実習>	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	定期考査のほか、実習、提出物、授業に粘り強く取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	高校生の時期に乳幼児との触れ合いや交流を図ることは、将来子どもを生み育てることの意義や親子関係の大切さを認識する上で大変役立ちます。少子・高齢化が進む社会で、最も求められているコミュニケーション技術を学び、生涯にわたる人間形成の基礎を培うことが大切です。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	2
学年・科	2年 ライフデザイン科 (ライフデザインコース)				
教材	教科書	生活と福祉 (実教出版)			
	副教材				
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考查	
1 学期	第1章 健康と生活	1 健康に関する諸概念 2 ライフステージと健康管理	【介護の実習】 ・手洗い ・レクリエーション ・歩行介助 ・車いすの移乗・移動の介護 ・デイサービス実習1	期末 考查
	第7章 生活支援	1 生活支援の考え方 2 レクリエーション		
2 学期	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴	1 少子高齢化の現状 2 家族・地域の変化 3 高齢者の心身の特徴 4 高齢者の病気 5 高齢者に見られる主な疾患や症状 6 高齢者の生活課題と施策	・デイサービス実習2 ・ベッドメイキング ・体位変換  ・衣服の着脱の介護 ・からだの清潔の介護 ・食事の介護 ・災害時の介護	期末 考查
	第3章 高齢者の自立支援	1 人間の尊厳 2 高齢者介護の考え方 3 コミュニケーションと介護		
	第4章 高齢者支援の法律と制度	1 社会保障・社会福祉制度のしくみ 2 介護保険制度のしくみ 3 さまざまな高齢者支援のしくみ 4 地域共生社会		
3 学期			・看護の実習	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	定期考查のほか、レポートや感想文などの提出物、実習技術、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	校内外での実習を通して、自分自身を見つめ、コミュニケーション能力や介護技術を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	4
学年・科	2年 ライフデザイン科 (ヒューマンサービスコース)				
教材	教科書	生活と福祉 (実教出版)			
	副教材				
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 健康と生活	1 健康に関する諸概念 <手洗い> 2 ライフステージと健康管理	中間 考查  期末 考查
	第5章 介護の実習	介護の実習 <ベッドメイキング> <体位変換> <ベッド上の体位変換> <歩行介助>	
2 学期	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴	1 少子高齢化の現状 <車椅子の移乗・移動> 2 家族・地域の変化 3 高齢者の心身の特徴	期末 考查
	第3章 高齢者の自立生活支援	4 高齢者の病気 <食事の介助1> <デイサービス実習1> 5 高齢者に見られる主な疾患や症状 6 高齢者の生活課題と施策	
	第6章 看護の実習	1 人間の尊厳 <衣服の着脱の介護1> 2 高齢者介護の考え方 3 コミュニケーションと介護	中間 考查  期末 考查
	第4章 高齢者支援の法律と制度	看護の実習 <デイサービス実習2> <身体の清潔の介護1> <デイサービス実習3> <バイタルサイン> <口腔の清潔>	
3 学期	第5章 介護の実習	1 社会保障・社会福祉制度のしくみ 2 介護保険のしくみ 3 さまざまな高齢者支援のしくみ 4 地域共生社会 <デイサービス実習4> 介護実習 <排泄> <食事・衣服・身体の清潔の介護2>	学年 末 考 査
	第7章 生活支援	1 生活支援の考え方 <衣・食・住の生活支援>	

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	定期考查のほか、レポートや感想文などの提出物、実習技術、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	校内外での実習を通して、自分自身を見つめ、コミュニケーション能力や介護技術を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	2
学年・科	2年・ライフデザイン科				
教材	教科書	ファッション造形基礎 (実教)			
	副教材				
学習目標	1 被服の構成、被服材料の種類や特徴など、被服製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得します。 2 デザインや着用目的に適した被服材料を選択して、洋服や和服についての製作に関する理論と技術を学習し、計画に従って能率的に製作できる能力と実践的な態度を身に付けます。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第4章 和服の製作	1 製作の基礎 2 簡単な和服の製作 (じんべい上衣) 1着目:そで作り (そで下の袋縫い、そで口三つ折り縫い) へり下くけ、そでつけ・そで縫い代始末、へりつけ・へりくけ 2着目:裁断、しるしつけ、背縫い、そで作り(そで下、袋縫い、そで口縫い)、すそ縫い、へりつけ、そでつけ、わき縫い、わき縫い・わき縫い代始末 ・全国高等学校家庭科技術検定被服製作和服準1級	期末 考查
2 学期	第1章 衣服の構成	1 人体と衣服 2 立体構成と平面構成	期末 考查
	第3章 洋服の製作	1 製作の基礎 2 シャツ・ブラウスの製作 裁断、接着芯貼り、しるしつけ、縫い代始末、ダーツ縫い、へりつくり、ヨーク・肩縫い、へりつけ、そでつけ、脇縫い、そで口縫い、すそ縫い、ボタンホール、ボタンつけ ・全国高等学校家庭科技術検定被服製作洋服準1級	
3 学期	第3章 洋服の製作	3 子ども用ワンピースの製作 裁断、接着芯貼り、しるしつけ、縫い代始末、見返しつくり、スカートつくり (ギャザーよせ・フリルつけ) ファスナーつけ、見返しつけ、そでつけ、脇縫い、そで口縫い、すそ縫い	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	縫製技術や作品の仕上がり、実習に取り組む姿勢、定期考查などについて、総合的に評価します。
アドバイス	被服製作も2年目となり、昨年よりも高度な製作技術が求められてきます。1年次に学んだ知識・技術の習得ができていて、さらに粘り強く取り組む力が必要になってきます。進度が遅れがちな人は、遅れるほど作品のできも悪く、意欲も低下しますので、放課後等に取り組み、遅れを挽回しておきましょう。



令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	2
学年・科	2年 ライフデザイン科				
教材	教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)			
	副教材	調理実習ノート 専門編 (愛媛県高等学校教育研究会家庭部会)			
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第2章 栄養素と食品 3 食品とその特徴	④ 豆類 ⑤ 種実類 ⑥ 野菜類 ⑦ 果実類 ⑧ きのこと類 ⑨ 海藻類 ⑩ 魚介類 ⑪ 肉類	期末 考查
2 学期		⑫ 卵類 ⑬ 牛乳・乳製品 ⑭ 油脂類 ⑮ 寒天・ゼラチン  <全国高等学校家庭科技術検定食物調理準1級>	期末 考查
3 学期	第3章 食品の選択と取り扱い 1 食品選択のコツ  2 食品の衛生と安全  3 食の安全を考えて選ぼう	⑯ 嗜好食品 ⑰ 調味料・香辛料 ⑱ 加工食品 ⑲ 健康食品 ① 食品の選択 ② 食品の表示 ① 食中毒とは？ ② 食中毒の種類 ③ 食中毒の予防 ① 食の安全を考える ② 添加物 (食品添加物) ③ 食の安全制度と情報	学年 末 考 査

評価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術が身に付いている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、実習や技術検定、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	調理実習については、家庭で予習、復習をし、実習に真剣に取り組み、調理技術や知識を身に付ける努力をしましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	ライフデザイン	単位数	2
学年・科	2年 ライフデザイン科 ライフデザインコース				
教材	教科書				
	副教材	ライフデザインノート（自作教材）			
学習目標	自分自身の現在や将来を見つめることで、これからの家庭生活や学校生活をより充実したものにしていくとともに、インターンシップ（就業体験）を通して、社会人としての基礎的・基本的な職業観を養い、将来の職業についての目標を持てるようになることを目指します。また、地域における共生の在り方や地域産業の振興や社会貢献について考えます。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 自分を見つめ自分の在り方を考える	1 自分を見つめる 2 自分をPRしよう 3 友達の良いところを見つけよう 4 コミュニケーションゲーム 5 友達との付き合い 6 個性はどのように作られるのだろう	期末 考查
	第2章 次世代につなぐ生活文化	1 100年前の生活と現代の生活 2 年中行事の伝承と創造 3 私にできるエコライフ	
2 学期	第3章 ライフステージと生活課題	1 いろいろな生き方・暮らし方 2 地域の人たちとともに 3 生命の誕生 4 子どもの遊びと暮らし 5 きょうだい関係を考える 6 思春期の暮らし方 7 青年期の暮らし方 8 恋愛と結婚 9 子どもの教育 10 高齢者の生活	期末 考查
	第4章 自分の将来について考える	1 職業人としての生活 2 自分にあつた仕事を探そう 3 やってみたい仕事、就いてみたい仕事 4 インターンシップ事前指導 5 インターンシップの実施 6 インターンシップ事後指導 7 インターンシップの反省と評価 8 ライフデザイン科での学びの活用	
3 学期			学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自己理解、衣食住の生活、家庭生活や職業生活、地域生活についての課題を取り上げ、自らの生活向上のための活動を行うことができ、心豊かな生活を営むために必要な知識や技術を身に付けている。	自己理解、衣食住の生活、家庭生活や職業生活、地域生活についての課題を取り上げ、思考を深めることができている。	自分の生活課題や地域課題について関心を持ち、主体的かつ協働的に課題に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	定期考查、授業を聞く態度、ワークシート、レポート、感想文、発表の仕方や内容、実習意欲や態度について総合的に評価します。
アドバイス	「ライフデザイン」は本校独自の学校設定科目です。他の教科・科目で学んだことを生かしながら、様々な方法で自らの人生設計や地域貢献について学んでいきます。目的意識を持ち、将来の進路選択にも役立てましょう。